

ことり新聞

July
2024.7.8
Vol.134



伊藤 看護部長

梅雨の時期はなんだか気分も落ち込んでしまいがちですね・皆さん体調は大丈夫でしょうか(^^)/ みんなで声をかけあって憂鬱な梅雨を吹き飛ばしていきましょう!



なぜ看護師に感情のマネジメントが求められるのでしょうか?

看護師は、さまざまな対象や状況に対して、感情が揺さぶられる体験をします。患者さん・ご家族に対して、同僚や部下、上司に対して、あるいは他職種、他の部署、ほかの医療機関など、看護師が関わる相手は多様であり、さまざまな相手に対して怒ったり、がっかりしたり、悔しい思いをしたりします。

自分の感情を抑えることは難しいことですが、看護師などの対人援助職は、時に感情を表に出さないことが求められます。看護師として働く中で自分のその時々感情を表出できず自分の中にため込んでいると、そのうち自分の感情に鈍感になってしまうことがあり、それは燃え尽き症候群のリスクになります。看護師に求められるのは感情に鈍感になることではありません。自分の感情に気づき、その感情を認めて、上手に付き合っていくことが大切です。

アンガーマネジメントとは、不要な怒りに振り回されず、必要なときに上手に怒りを表現できること → 怒りの感情と上手に付き合うための技術

アンガーマネジメントを学び、自分の感情とうまく付き合っていきましょう!

引参考文献：ナースのためのアンガーマネジメント 田辺百合子

7月研修

- 4・25日 法人卒後3年目「チーム作りに取り組む」
- 9日 排泄ケアスペシャリスト16期①
- 13日 法人管理職「メンタルヘルスハラスメント」
- 16日 新人看護師「SBAR/BLS」
- 18日 難病患者看護
- 23日 新人看護師「夜勤勤務・心電図モニター」
- 26日 派遣アルバイト補助職「個人情報守秘義務」

7月行事

- 6/24~3日 大阪医専実習
- 3~12日 大阪医科薬科大学実習
- 9~11・16~18日 兵庫医科大学実習
- 16~18・29~31日 ふれあい看護体験
- 16~25日 摂南大学実習
- 31日 臨地実習指導者カンファレンス

今月の偉人名言です。

楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいのだ。 ウィリアム・ジェームス



5年ぶりの法人リフレッシュ研修

東3階 看護師長

6月15~17日、1泊2日で法人リフレッシュ研修が開催されました。

法人内の新入職員が参加し、親睦を深め、働きやすい職場作りのために自分たちが工夫、努力できることをグループで話し合い、環境の変化や苦手なことへの取り組みについての心の持ちようや考え方を学ぶ研修です。



コロナ禍で中止となってから5年ぶりの開催でした。

兵庫県丹波篠山の「ユニットピア篠山」で行われ、午前中はクオリティマネジメント室公認心理士講師による講義、午後からはアスレチック・運動会・クイズ大会、夜は地元の食材が贅沢に使用された会席料理を食べながら、新入職員による出し物等々・・・有意義な時間を過ごしました。

千里の新入職員は、リーダーシップを発揮し、周囲を気遣いながら研修を盛り上げてくれました。今後の活躍に期待しています。研修に出させていただいた病棟の皆様、ありがとうございました。



看護現場学

現任教育リーダー 西5階 看護師長

医療法人協和会では卒後3年目必須課題として「看護観」をまとめています。

「看護観とは看護師として患者にどのような看護を行うかについての個々の考え」です。自分の看護観をまとめるには、自分が何を大切に思って日々看護しているのかを知る必要があります。看護ケアは実施確認として文字で表せるものだけではありません。患者さんの苦痛を緩和するために体に触れる手や、家族を笑顔にできる言葉選びもまた看護ケアです。



研修アンケートからは「同期と看護観について話すことができ自分が大切にしていることを考えることができた」「自分の思いを表現することは看護の振り返りになり、自分自身を成長させることにも繋がると学んだ」など、頼もしい言葉ががたくさんありました。私の看護観は「患者さんが大切にしている思いを、家族を含めた医療チームで支えること」です。

皆さんの看護観は何ですか? 忙しい日々の中ですが、一度立ち止まって考えてみてください。



5月 新規褥瘡発生 17人

(6月褥瘡予防対策委員会より)